

〔8〕実施要項

1. 参加申込

締切期日 平成30年 6月20日(水) 必着
申込み先 大会事務局 和歌山大学学生支援課
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
(Tel:073-457-7110 E-mail: gakuseika@center.wakayama-u.ac.jp)

参加資格

- (ア) 本大会規程第13条適用、かつ平成30年度関西陸上競技連盟登録者に限る。
- (イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。

参加制限

- (ア) 1種目につき1大学3名以内(ただし、リレーは除く。)
- (イ) 1人3種目以内(ただし、リレーは除く。)
- (ウ) リレーは1大学1チームとする。

申込方法

- (ア) 所定の方法(参加申込み)により提出すること。
- (イ) リレーは4～6名連記のこと。

2. 競技方法

競技方法

得点累加法による団体競技とする。

得点

1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点、ボーナス得点(日本新30点、日本タイ25点、日本学生新20点、日本学生タイ15点、関西学生新10点、関西学生タイ7点、大会新5点、大会タイ2点)ただし、ボーナス得点は予選・決勝を通じて1回のみ与えられるものとする。

順位決定

総合得点法により団体順位を決定する。ただし、同点の場合は1位の種目数の多い大学を上位とする。それでも順位決定できない場合は、2位の種目数で決定する。なお、決定しない場合は3位の種目数で決定する。いずれの段階でも決定できない場合は抽選により決定する。

競技規則

2018年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項による。

審判

- (一財) 和歌山陸上競技協会に委嘱する。

3. 表彰

男女各総合、トラックの部、フィールドの部の3位までを表彰する。

4. 大会記録

大会新記録及びタイ記録は、手動時計、電気計時を問わず、プログラム記載の大会記録よりも良い(大会新記録)か、あるいは大会記録と同じ(大会タイ記録)であることを条件とする。

5. その他

- (1) 代表者会議の実施については、各大学に開催の意向を確認し、決定する。
- (2) ナンバーカードは、各自、関西学生陸上競技連盟のものを用いること。
- (3) 参加大学は審判員を出すこと。
- (4) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。ただし、2018年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

練習は、サブトラックまたは雨天練習場を使用する。（サブトラックでの投てきは禁止）
ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。
（フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできません。）
メイン競技場については、トラックのみ7時30分から競技開始40分前まで開放する。
監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させる。

3. 招集について

- ① 招集場は、100mスタート側（スタンド外）に設置する。
- ② 出場種目の招集完了時刻までに、競技者本人がコール用紙のレーンナンバーに○を付けて行う。
その際、ナンバーカードとスパイクピンの長さの点検を受け、腰ナンバーカードを受け取る。
- ③ 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上を同時に出場する競技者は、あらかじめ本人がその旨を競技者係に申し出ること。その場合のみ、点呼の代理を認める。
- ④ 招集時刻は下記のとおりとし、招集に遅れた競技者は棄権とみなす。

区 分	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競 技	競技開始時刻の 40 分前	競技開始時刻の 30 分前
フィールド 競 技	競技開始時刻の 50 分前	競技開始時刻の 40 分前
棒 高 跳	競技開始時刻の 70 分前	競技開始時刻の 60 分前

- ⑤ リレーオーダー用紙は、競技開始1時間30分前までに競技者係に提出すること。
（リレーオーダー用紙は招集場に用意する）

4. 走路及び試技順とその番組編成について

- ① トラック競技予選の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。決勝については、本部において抽選する。
- ② トラック競技の予選種目において、招集完了後に出場者が8名又は8チーム以下の場合は、予選を省略し、決勝の時間に行う。
- ③ リレーについてはタイムレース決勝とする。

5. バーの上げ方及びその記録の公認について

- ① バーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	練 習 155cm	160、165、170、175、180、185、190cm 以後は 3 cm ずつ
女子走高跳	// 120cm	125、130、135、140、145、150、155、160cm 以後は 3 cm ずつ
男子棒高跳	// 260cm	280cm から開始し、360cm までは 20cm ずつ 以後は 10cm ずつ

- ② 1位を決定するバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- ③ 三段跳の踏切板の位置は、当日審判長の判断で決定する。

6. 競技用具について

競技用具は棒高跳ポール及びやりの他は、競技場備え付けのものを使用すること。ただし、持参の棒高跳用ポール及びやりは、検定・承認を受けてから使用すること。（やりの検定は競技開始1時間前まで、第二ゲート（1,500mスタート地点後方）器具庫前にて行う。）

7. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、各自登録番号のナンバーカードをユニフォームに付けること。トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集場で競技者係から受け取り、パンツの右側後方につけること。（走高跳、棒高跳に出場する競技者は背部または胸部だけでもよい。）なお、ナンバーカードは各自、関西学生陸上競技連盟のものを持参すること。（腰ナンバーカードは、ゴール後速やかに担当補助員に返却すること。）

8. スパイクシューズについて

スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とし、スパイクの先端の直径はすべて4mm以内でなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。

9. 対抗得点について

各種目の得点は、1位8点、以下8位まで7、6、5、4、3、2、1点とする。「ボーナス得点制」を採用する。（日本新30点、日本タイ25点、日本学生新20点、日本学生タイ15点、関西学生新10点、関西学生タイ7点、大会新5点、大会タイ2点）ただし、ボーナス得点は予選・決勝を通じて1回のみ与えられるものとする。

10. 開・閉会式について

- ① 開・閉会式の入場行進は行わないので、所定の時刻に本部前に集合すること。
- ② 開・閉会式における服装は、トレーニングウェアとする。

11. 競技場使用の注意

- ① 競技場の開門時刻は7時30分、閉門時刻は17時とする。
- ② メインスタンドでのテント及びシート、横断幕、幟等の使用は認めない。
- ③ スパイクでのメインスタンド施設内通路の通行することは厳禁とする。
- ④ メインスタンドでの集団応援は禁止とする。集団応援は大学ごとに決められた位置で行うこと。
- ⑤ 競技場のトラック、フィールド内には競技者以外は立ち入らないこと。
- ⑥ ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。

12. その他

- ① 入賞者（1位～3位）は、表彰の招集があれば速やかに本部前に集合すること。
- ② 各自の所持品は、各自の責任において保管すること。
- ③ 不明な点は、本部まで問い合わせること。

総合優勝制度得点

1位－10点、2位－7点、3位－5点、4位－4点
ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。